

E型レックスペラ (巡回式スラスト)



2021

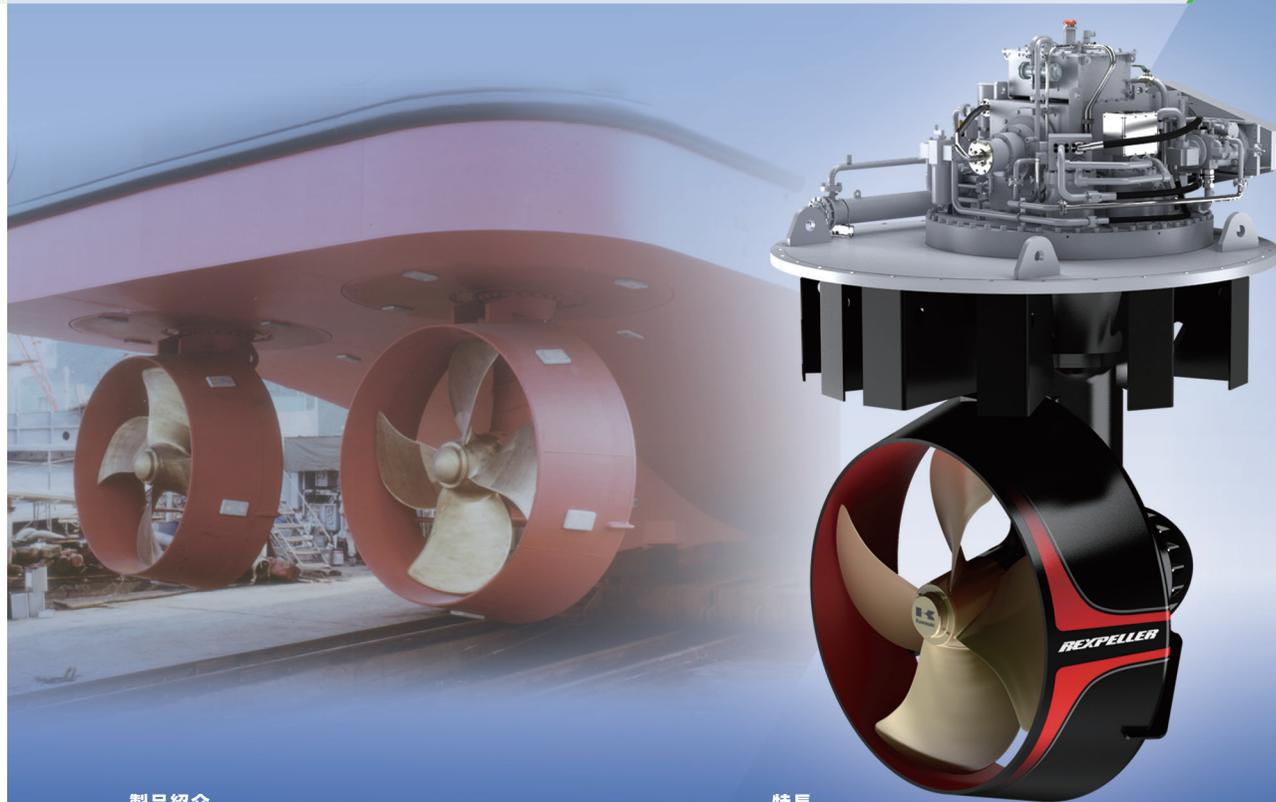
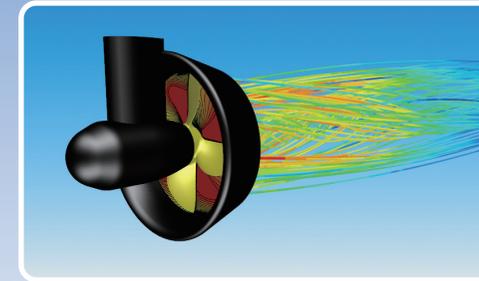
Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

2018年：初回登録

川崎重工業株式会社

新開発のプロペラダクトによる推進性能の向上と ポンプ駆動方式変更による低騒音化を実現

流体解析技術を駆使し、下部ギヤケース形状を最適化し、さらに新開発のコンパクトかつ高性能なプロペラダクト（コルトノズル）採用により省エネルギー化を実現。ポンプ駆動方式を従来のギヤからベルトへ変更することで10dB以上の低騒音化を実現。



製品紹介

推進性能の向上による省エネ化（Energy saving）、船内におけるメンテナンス性の容易化（Easy maintenance）、環境に優しい（Environmentally friendly）という3つの“E”をキーワードに開発した巡回式スラスト「E型レックスペラ」

特長

- 下部ギヤケース形状の最適化および新開発のコンパクトかつ高性能なプロペラダクト（コルトノズル）の採用による省エネ化
- 油圧クラッチの構造見直しによる船内でのメンテナンス作業性の向上
- 油圧ポンプ駆動方式としてベルト駆動を採用することで低騒音化を実現し、船内作業環境を改善